

# 第4学年 社会科学学習指導案

社会科学研究室

- 1 小単元名 「太宰府市の人々の暮らし」（10時間）
- 2 小単元の考え方

## こんな子どもだから（子どもの実態）

### 関心・意欲・態度

本学級の子どもたちは、前小単元「五人の庄屋と村人たち」の学習の中で、先人が用水路を苦心して作った結果、その地域に住む人々の生活が向上したことを図書資料やインターネットを使って意欲的に調べる活動を行ってきている。

### 資料活用・表現・コミュニケーション

前期終了後までに子どもたちは、写真資料や図書資料などから分かることをノートに書きまとめてきた。そして、自分の考えを文章で書いた上で、友だちと交流する活動を行っている。

### 知識・理解，社会的な見方・考え方

前小単元「五人の庄屋と村人たち」では、用水路を造った先人たちの悩みや苦勞を調べることで、そのことが地域の人々の向上に大きな影響を及ぼしたことを、その後の地域の発展から考えることができた。また、その地域が自分たちの住む福岡県にあることで、学習した先人の働きに対して誇りを感じている。

## こんな教材で（指導要領・教材の価値）

### 学習指導要領3・4年の内容（6）から

県（都，道，府）の様子について，次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ，県（都，道，府）の特色を考えるようにする。

特に本小単元では，

**ウ 県（都，道，府）内の特色ある地域の人々の生活**

が中心となる。

### 学習指導要領3・4年の目標（3）から

地域における社会的事象を観察，調査するとともに，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

知識・理解，社会的な見方・考え方の観点から

- ・ 県内の特色ある人々の生活の様子
- ・ 自然環境，伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域やそこに見られる人々の生活の特色

↓ 本小単元では，

歴史ある建造物や街並み，祭などの地域の伝統や文化を受け継ぎ保護・活用しながら，地域の人々が互いに協力して，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めている地域として太宰府市を取り上げる。

資料活用・表現・コミュニケーションの観点から

本小単元では，「太宰府市に人口の90倍もの人々が訪れる理由をとらえるようにする」ために，「太宰府市の文化遺産の分布地図」「太宰府市の交通の様子を表した地図」「太宰府市のコミュニティバスの路線図」

特に効果的に活用するとは、資料を例にすると、第3・4学年においては次のように活用する。

- ・資料から必要な情報を読み取る。
- ・資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる。
- ・必要な情報を収集する。

この目標を実現するために、

自分達の住んでいる身近な地域や市、県の社会的事象を、学習問題に即して意欲的に観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を活用したりして調べることができるようにする必要がある。また、調べたことや地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたことを相手にも分かるように表現することができるようにすることが大切である。

「太宰府市内の駐車場の分布図」といった様々な種類の地図が必要であり、そこから必要な情報を読み取るなど、資料を活用して必要な情報を収集することができる教材である。

また、それらの複数の資料から得た事実から、全体的な傾向をとらえることで、太宰府市に人口の90倍もの人々が訪れる理由を「太宰府市の文化遺産」「太宰府市の交通の利便性」「太宰府市の取組」の相互の関連から考え、表現する子どもの姿が期待できる。

さらに、それぞれの考えを交流する場面を設定することで、自分の考えを資料をもとに相手に分かるように伝え、友達の考えから自分の考えを深める子どもの姿が期待できる。

#### こんな子どもに（単元目標）

##### 関心・意欲・態度

福岡県にある古い文化の残る太宰府市の様子に関心をもち、人々のくらしを意欲的に調べることができる。

##### 思考・判断

太宰府市に人口の90倍の観光客が訪れる理由について、古い文化遺産の存在、交通面での利便性、市民の努力と関連付けて考えることができる。

##### 資料活用・表現・コミュニケーション

太宰府市の人々のくらしについて地図などの具体的資料を活用しながら調べ、調べたことや考えたことをわかりやすく表現したり、話し合ったりすることができる。

##### 知識・理解、社会的な見方・考え方

太宰府市の人々が交通の面で便利な立地条件のもとで、歴史ある文化を守り続けながら、観光業を盛り上げる様々な工夫や努力をしたり、協力したりして市を活性化させていることを理解することができる。

## ○指導構想

### 研究内容① 地図を生かした学習問題の設定

学習問題を「なぜ、太宰府市には人口の90倍もの人々が訪れるのだろう。」と設定した。

地図には、位置や距離、分布や広がり、方位、交通との結びつきをとらえることができる特性がある。本小単元では、これらの特性を生かして学習を行っていく。

特に、学習問題の設定では、まず、**福岡県の地図**を提示し、福岡市と太宰府市の**位置と距離**をつかませる。次に、太宰府市の地図を二つ提示する。一つは、**太宰府市内の文化遺産の分布を表した地図**であり、この地図から、太宰府市に数多くの文化遺産がどのように**分布**しているかを気づかせる。もう一つは、**太宰府市を通る JR・私鉄の路線図や国道・高速道路を示した地図**である。この地図から、太宰府市の近辺に多くの**交通機関**が存在し、近隣の市や県とつながっていることに気づかせる。最後に、太宰府市の人口と太宰府市に一年間に訪れる人々の数の比率を表した紙を提示し、その長さを比較させることで、学習問題「なぜ、太宰府市には人口の90倍もの人々が訪れるのだろう。」を設定する。

### 研究内容② 単元の各段階における地図の位置付け

本小単元では、考えを深めるために地図を活用した調べ活動や交流活動を以下のように位置付ける。

学習段階	地図の活用	地図を活用した活動	地図
つかむ	読図の活動①	○ 福岡県の太宰府市には、文化遺産が多く残り、近隣の市や県と線路や道路でつながっていることを三種類の地図から読み取る。	

さぐる

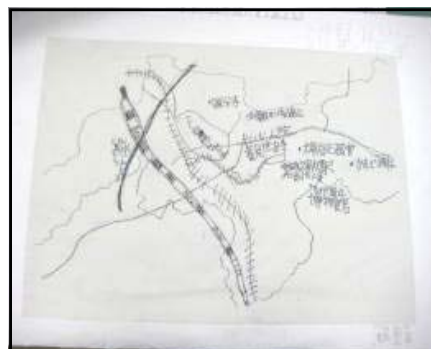
読図の活動②


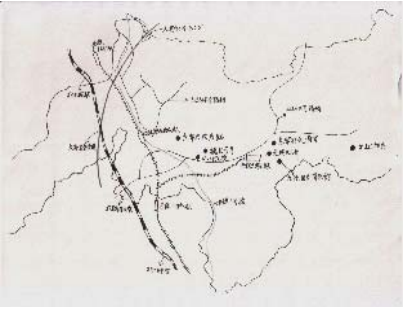
- 学習問題について予想し、「文化遺産」「交通」「市民の取組」の三つの視点について、**地図を読み取りながら**事実認識を行う。



吟味する活動

- これまでの調べ活動で読み取ったそれぞれの**地図を組み合わせて**、太宰府市の**白地図に事実をまとめていく**。



まとめる	再構成する活動 ①	○ 太宰府市の人々が、太宰府市に訪れる人が観光しやすいような取組をしていることを、駐車場が文化遺産の近くに多数位置していることを地図から読み取り、学習問題に対する自分の考えを確かにする。	○ 太宰府市の駐車場の位置と数を表した地図
	再構成する活動 ②	○ これまで調べてきたことをもとに、10年後の太宰府市について自分の考えをかいた地図と太宰府市の計画を描いた地図と比較することで、伝統的な文化を保護・活用しながら観光業で市を活性化しようとする太宰府市民の姿について、変えるだけでなく今あるものものを守り続けることも大切であるという新たな考え方を持つ。	 

### 研究内容③ 地図の内容と提示の工夫

#### ①つかむ段階

何のために	何を	どのように
○ 福岡県太宰府市には、文化遺産が数多く存在し、鉄道や道路で近隣の市や県とつながっていることをとらえ、なぜ、太宰府市には、人口の90倍もの人々が訪れるのかという学習問題を立てるために、	○福岡県の地図を ○太宰府市内の文化遺産の分布を表した地図 ○太宰府市を通るJR・私鉄の路線図や国道・高速道路を示した地図を	○ まず、「福岡県の地図」を提示し、福岡市と太宰府市の位置をつかませる。次に、「太宰府市内の文化遺産の分布を表した地図」と「太宰府市を通るJR・私鉄の路線図や国道・高速道路を示した地図」から気づくことを交流させる。

② さぐる段階

何のために	何を	どのように
○ 太宰府市に人口の90倍もの人々が訪れる理由を、文化遺産の多さ、交通の便利さ、市民の取組の点から考えさせるために、	○ 太宰府市内の文化遺産の分布を表した地図を ○ 太宰府市を通るJR・私鉄の路線図や国道・高速道路を示した地図を ○ 福岡市から太宰府市までのアクセス図を ○ 太宰府市のコミュニティバスの路線図を	○ それぞれの地図からわかることを交流する。
○ 太宰府市に人口の90倍もの人々が訪れる理由について、自分の考えの根拠となる事実を確かめるために、	○ 児童が学習問題の答えにつながると考える事実を描きこんだ太宰府市の白地図を	○ これまでの調べ活動で読み取ったそれぞれの地図から分かる事実を太宰府市の白地図にまとめさせ、それらの事実同士の関係に気づかせる。

③ まとめる段階

何のために	何を	どのように
○ 太宰府市に人口の90倍もの人々が訪れる理由について、「文化遺産」「交通」「市民の取組」の三つの視点の関連性に気づかせるために、	○ 太宰府市の駐車場の位置と数を表した地図を	○ 学習問題に対する考えを交流した後、太宰府市の駐車場の位置と数を表した地図を提示し、「市民の取組」と「文化遺産」・「交通」とのつながりに気づかせる。

④ 本時（まとめる段階）

何のために	何を	どのように
○ 伝統的な文化を保護・活用しながら観光業で市を活性化しようとする太宰府市民の姿について、変えるだけでなく今あるものものを守り続けることも大切であるという新たな考え方を持たせるために、	○ 「まるごと博物館計画」をもとにした太宰府市の未来予想地図と10年後の太宰府市について自分の考えをかいいた地図を	○ これまで調べてきたことをもとに、10年後の太宰府市について自分の考えをかいいた地図と太宰府市の計画を描いた地図と比較させて分かることをこれまで追究してきた「文化遺産」「交通」「市の取組」の3つの視点から読み取らせる。

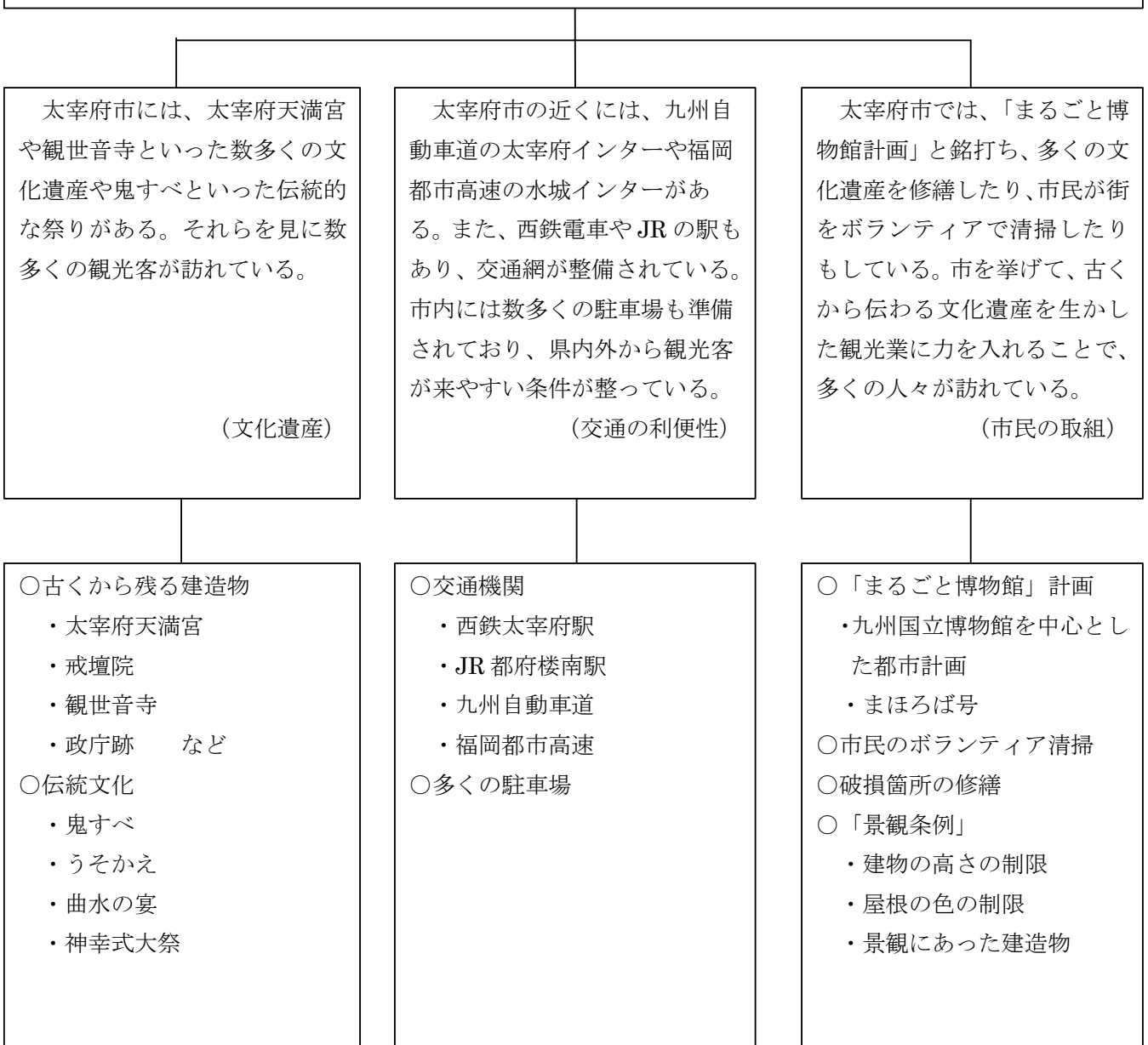
### 3 小単元の構想図

福岡県にある太宰府市では、歴史ある建物や街並みが今も数多く残っている。太宰府市の人々は、破損した場所を修繕したり、周囲を清掃したり、古くから伝わる地域の祭りを続けたりと数多くの文化遺産の保全に努めている。

また、太宰府市は、県内でも有数の観光地であり、市の近くには九州自動車道の太宰府インターや福岡都市高速の水城インターがある。また、西鉄電車や JR の駅もあり、交通網が整備されており、県内外から訪れやすい場所であると言える。

加えて、太宰府市では、「まるごと博物館計画」と銘打ち、多くの文化遺産を修繕したり、市民が街をボランティアで清掃したりもしている。市内を走るコミュニティバス「まほろば号」は市が運営しており、その停留所は各名所の近くに設置されている。

太宰府市には、地域の伝統や文化を守り、交通の利便性に富んだ条件を生かし、市民が様々な取組をすることで、人口の90倍もの人々が訪れている。



#### 4 学習計画

	学 習 活 動 と 内 容 ( ○内容)	テーマに沿った手だて	配時
つかむ	<p>1 太宰府市の概要を知り，学習問題をつくる。</p> <p>(1) 太宰府市の様子を資料から読み取り，概要をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福岡市から南西に約 16 km (行程)</li> <li>○ 多くの人でにぎわう太宰府天満宮・九州国立博物館</li> </ul> <p>(2) 福岡市と太宰府市に訪れる観光客のそれぞれの人口との比率から学習問題をつかむ。</p> <p>学習問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ，太宰府市には人口の約 90 倍の人々が訪れるのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習問題をつかむことができるようにするために，<b>福岡県の地図</b>を提示し，太宰府市の位置を正確に読み取らせ，<b>太宰府市内の文化遺産や施設の分布図</b>と<b>福岡市と太宰府市の観光客の人口に対する比率を表した資料</b>を提示し，太宰府市の特色をつかませる。</li> </ul>	2 ① ①
	<p>2 学習問題の予想について話し合い，学習計画を立てる。</p> <p>(考えられる子どもの予想)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数多くの文化遺産</li> <li>○ 交通面での利便性</li> <li>○ 市民の努力</li> </ul>	(読図の活動①)	1
さぐ	<p>3 追究の視点に沿って調べ，調べた事実を白地図にまとめる。</p> <p>(1) 追究の視点にそって調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 太宰府市内の文化遺産や施設を観察する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古くなった部分を修繕するなどして，現在まで残っている歴史建造物</li> <li>・ 市民の手により清掃などが行われたり，市が観光しやすいように整備した町並み</li> </ul> </li> <li>○ 福岡市や他県とをつなぐ交通網について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR，西鉄，九州自動車道，福岡都市高速などの交通網が太宰府市の近くに位置している。</li> </ul> </li> <li>○ 太宰府市役所の方から，市の取り組みについての話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「まるごと博物館」計画で市全体で文化遺産を保護していること</li> <li>・ 文化遺産を周りやすく路線を配置された安価なコミュニティバス</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) これまで調べてきたことを太宰府市の白地図にまとめる。</p> <p>(4) 太宰府市の白地図にまとめた事実を見直し学級全体で事実をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な情報を正確に読み取らせるようにするために，<b>太宰府市内の文化遺産や施設の分布図</b>や<b>JR・西鉄・高速道路と太宰府市の位置が分かる地図</b>，<b>コミュニティバスの路線図</b>，<b>市内の道路の様子を表した写真</b>を提示する。(読図の活動②)</li> </ul>	4 ②
まと	<p>4 太宰府市の人々の取り組みについて全体交流することで学習問題の答えをまとめる。</p> <p>(1) これまで調べてきたことをもとに太宰府市に観光客が訪れる理由について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>太宰府市は，古くから伝わる文化遺産があり，近くには交通網が整えられていて遠くからでも来やすい。また，市の人々は太宰府の町並みを守るなど，観光がしやすいように様々な工夫や努力を行っている。そのことが太宰府市に人口の 90</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べた事実を吟味することができるようにするために，<b>児童が調べたことを書き込んだ太宰府市の白地図</b>を提示する。</li> </ul> <p>(吟味する活動)</p>	① ① 3 ①



め る	<p>倍もの人々が訪れることにつながっている。</p> <p>(2) これからの太宰府市の取組について自分の考えを白地図に書く。</p> <p>(3) これからの太宰府市の取組について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを確かに行うことができるようにするために、<b>10年後の太宰府市</b>について<b>自分の考えを白地図</b>にかかせる。 (再構成する活動①)</li> <li>多面的な見方ができるようにするために、<b>太宰府市の未来を表した地図</b>を提示する。 (再構成する活動②)</li> </ul>	① 本 時
--------	---	--	-------------

## 5 本時 「10年後の太宰府市について未来予想地図から考えを深める」(10/10)

### 6 本時の目標

- 10年後の太宰府市について、これまで調べてきたことをもとにして考えた自分の未来予想地図と太宰府市が計画している未来予想地図とを比較し、その違いの理由を考え、話し合うことで、変えるだけでなく今あるものものを守り続けることも大切であるという新たな考え方をもつことができる。

### 7 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは「なぜ、太宰府市には年間、人口の90倍もの人々が訪れるのだろう」という学習問題で、「太宰府市にある文化遺産はどのようなものか」「太宰府市やその近隣の交通の様子はどうなっているのか」「太宰府市に住む人はどのような取組を行っているのか」について、資料から必要な事実を読み取り、学習問題の答えについて話し合ってきている。そして、「10年後の太宰府市」について、それまで調べてきたことをもとに自分の考えを白地図に書く活動を行ってきている。

本時では、太宰府市の推進する「まると博物館計画」に基づいた太宰府市の未来予想地図と自分の考えた地図とを比較することによって、太宰府市の人々が互いに協力して行われる特色あるまちづくりについて考えることをねらいとしている。

太宰府市の特色あるまちづくりとは以下の通りである。

#### 「まると博物館計画」の考え方

- 市全体が「まると博物館」
- 歴史が残したものを守り、未来を創る博物館
- 市民と来訪者にとって魅力的なまちづくり
- 環境づくり・人づくり
- ネットワークが支える持続的・発展的な取組

平成13年から平成22年の基本計画であり、太宰府天満宮とその近隣の九州国立博物館を中心に据え、歴史ある建造物や街並み、遺跡などを保護・活用していこうとする太宰府市独自のまちづくり計画である


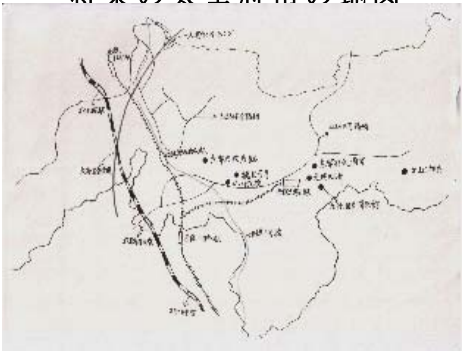
以上のようなねらいを達成するために以下のような仮説を設定し、手だてを行う。

#### 授業仮説

「10年後の太宰府市」について自分の考えを書いた太宰府市の白地図と太宰府市が推進する太宰府市の未来予想地図とを比較させることで、新しい物を作ったり、新たな取組をしたりするのではなく、太宰府市の伝統や文化を受け継ぎ保護・活用することで市の発展に努めているという新たな見方・考え方をもたせることができるであろう。

- 前時に書いていた「10年後の太宰府市」について、自分の地図を提示しながら発表させ、互いの考えを交流させる。
- 交流後、実際に太宰府市が推進している「太宰府市の未来予想地図」を提示する。自分の考えを聞いた太宰府市の地図と比較させ、これまで追究してきた「文化遺産」「交通」「市の取組」の3つの視点から分かることを書かせ発表させる。
- 子どもたちの発表の後、「太宰府市役所の方の話」を提示し、「変えない理由」を明らかにさせる。
- 最後に、「今日の学習で」にこの時間の始まりの時の自分の考えと終わりの時の自分の考えの変容について書かせる。

8 本時の展開

主な学習活動と内容	テーマ・主張点とのかかわり			
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <p>10年後の太宰府市について、友だちの考えや資料をもとに話し合い、自分の考えを深めよう。</p> <p>2. 10年後の太宰府市についての自分の考えを発表する。</p> <p>(1) 小グループで自分の考えを発表し合い、付け加えを行ったり、自分の考えを見直したりする。</p> <p>(2) 10年後の太宰府市について、自分の考えを発表し、全体で交流する。</p> <p><b>変える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 線路を延ばす。</li> <li>○ 新しい施設を作る。</li> <li>○ 道路を増やす。</li> <li>○ 駐車場を増やす。</li> </ul> <p><b>変えない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今のままでも人はたくさん来る。</li> <li>○ 現在の姿がよい。</li> </ul>	<p>テーマ・主張点とのかかわり</p> <p><b>自分の考えをかいた地図</b></p> 			
<p>3. 太宰府市が企画している将来の太宰府市の地図と自分の考えをかいた地図を比較し、新たな自分の考えをもつ。</p> <p>太宰府市が企画している将来の太宰府市の地図と自分の考えをかいた地図を比較して分かること。</p> <table border="1" data-bbox="145 1173 959 1335"> <tr> <td data-bbox="145 1173 392 1335"> <p>「文化遺産」</p> <p>10年後もそのまま変わらず。</p> </td> <td data-bbox="392 1173 671 1335"> <p>「交通」</p> <p>線路を延ばしたり、道路を作ったりはしない。</p> </td> <td data-bbox="671 1173 959 1335"> <p>「市の取組」</p> <p>まほろば号の路線を変える予定はない。</p> </td> </tr> </table> <p>「まるごと博物館計画」で太宰府市に数多く残る文化遺産を保護・活用していくため、大きく変えていくものはない。(太宰府市役所の方の話)</p> <p>変えていくことだけが人を集めることにはならない。今あるものを変わらず守ることも大切なことである。</p>	<p>「文化遺産」</p> <p>10年後もそのまま変わらず。</p>	<p>「交通」</p> <p>線路を延ばしたり、道路を作ったりはしない。</p>	<p>「市の取組」</p> <p>まほろば号の路線を変える予定はない。</p>	<p>○ 多面的な見方に気付くことができるようにするために、将来の太宰府市の地図を提示し、自分の考えをかいた地図と比較して分かることをこれまで追究してきた「文化遺産」「交通」「市の取組」の3つの視点から発表させる。</p> <p><b>将来の太宰府市の地図</b></p> 
<p>「文化遺産」</p> <p>10年後もそのまま変わらず。</p>	<p>「交通」</p> <p>線路を延ばしたり、道路を作ったりはしない。</p>	<p>「市の取組」</p> <p>まほろば号の路線を変える予定はない。</p>		
<p>4. 「今日の学習で」を書く。</p> <p>ぼくは、最初10年後の太宰府市は人を集めるために、道路を増やしたり、新しく遊園地を作ったりすれば10年後の太宰府市にも多くの人がやって来るのではと思っていました。でも、友だちの考えや資料から、今と大きく変えなくても人がたくさん太宰府市にやって来るのではないかと考えが変わりました。</p>	<p>○ 「今日の学習で」に、10年後の太宰府市についての自分の考えの変容を書けるようにするために、自分の最初の考えがどのように変わったかとその理由を書かせる。</p>			